

まつら



No.97

令和6年6月

佐賀県唐津農林事務所
東松浦農業振興センター
TEL(0955)73-1121
FAX(0955)75-0578



<http://www.pref.saga.lg.jp/web/higashifukyu>
※東松浦農業振興センターホームページ



もろおか りゅうと
諸岡 竜斗さん
(27歳)

「将来の夢は唐津を代表するカンキツ農家！」

～カンキツ農家「^{もろおか りゅうと}諸岡 竜斗」さんをご紹介します！～

諸岡竜斗さんは、唐津市浜玉町出身で、大学卒業後は東京で造船関係の営業職に従事していました。令和4年から結婚を機に妻の実家の農園に就農し、今ではお義父様と二人三脚で露地約20a、施設約60aでカンキツを栽培されています。

就農当初は、実際に栽培してみると、わからないことだらけで苦労が絶えませんでした。そのような中、周囲に技術力の高いカンキツ農家が沢山いることを知り、積極的に連絡を取ることで多くの技術を学ぶことができたそうです。

人脈づくりの大切さを実感した諸岡さんは、令和6年度から「唐津・東松浦地区4Hクラブ（松原会）」に参加し、入会1年目ながらも県組織の役員を務め、青年農業クラブの全国行事に参加するなど、積極的な人脈づくりを行っています。

「今後はより多くの人に安定して自慢のミカンを届けたい」と話す諸岡さん。さらなる品質向上と収穫量の増加を目指して、施設カンキツの栽培面積をさらに拡大していく計画です。「唐津を代表するカンキツ農家になる！」という目標に向かって、日々努力を重ねられています！

そんな諸岡さんから、仲間募集の告知です。

「二心会」松原会の新たな仲間を**絶賛大募集中**です！

農業を始めるにあたって「人とのつながり」も大切です。4Hクラブは農業人として成長するキッカケに出会える、貴重な場です。

唐津・東松浦地域には上場地域の二心会と唐津地域の「松原会」があります。

入会して共に学びましょう！

(事務局・東松浦農業振興センター)

魅力あふれる『まつら農業・農村』の振興に向けて

センター長 高島 俊介

唐津・東松浦の農業については、先人達からの積み上げにより、ハウスみかん、イチゴ、タマネギ、茶、葉タバコ、肉用牛など、県内、国内を代表する産地を築いてこられました。

佐賀県では、将来にわたって農業・農村を発展させていくために、その姿を見て、新たな担い手が次々に就農するような魅力のある「稼ぐ」農業の実践に注力していくこととついでいます。このため、「さが園芸888運動」を展開し、園芸団地の整備や露地園芸の拡大を目指すなどの重点施策を推進しています。そこで、令和6年度の普及活動計画では、

- 佐賀さいこう農業経営体（一億円プレーヤー）の育成
- 露地野菜・花きの新産地づくり
- ミニトレーニングファームを核とした園芸産地の飛躍

これらのプロジェクトを柱に、当地域の様々な課題解決に取り組むこととしています。

また、来年1月には、農業分野において国内最大規模の大会となる「第26回全国農業担い手サミット」が、SAGAアリーナをメイン会場に、当地域を含む県内6つの地域で交流会が開催されます。全国から意欲ある農業者が集い、交流できる絶好の機会となります。本大会を皆さんとともに盛り上げていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

R6年度 東松浦農業振興センター 職員紹介



唐津農林事務所の活動を掲載します。

唐津農林事務所の日頃の活動を、県HPに随時掲載していきます。私たちの活動を、ぜひご覧ください。
<https://www.pref.saga.lg.jp/list00102.html>

令和6年度から始まる新たな活動（普及課題）の紹介

施設園芸

ミニトレーニングファームを核とした、園芸産地の更なる活性化に向けて

近年、地域の担い手数が減少しており、今後は産地の維持が難しくなることが予想されています。一方で、令和3年度からJA、市町と連携し整備・運営している農業研修システム「唐津版アグリ・トレーニング（アグ・トレ）」により、生産者が増加傾向にある部会も出てきています。そこで、現在整備をすすめている研修施設「ミニトレーニングファーム」を核とし、次代の担い手となる研修生の確保・育成に取り組むことで地域全体の活性化、園芸産地の飛躍を目指します。



土地利用型

水田を活用した収益性の高い露地野菜等の作付推進（モデル地区における取組）

上場地区の水田の多くは、水稲のみが作付けされており、冬場は休耕田となっています。そこで、上場地区の水田に適した露地野菜を検討するとともに、水稲と露地野菜を組み合わせた輪作体系づくりに取り組み、水田の維持および所得向上を図ります。

また、厳木・相知町の中山間地域では高齢化や担い手不足で水田の維持が難しくなっています。そこで、モデル地区を中心に、販売先と連携した黒大豆とカンショの作付推進、若手の栽培者の掘り起こし、中山間地域に適した省力化機械の実演等を行います。



令和6年度も唐津で就農

セミナーを開催します！

栽培・経営概要、就農支援策の紹介の他、収穫・畜産体験や先輩農家との意見交換も行います。唐津市や玄海町で新規就農を希望する方、興味がある方が対象です。ぜひ意欲ある方の応募をお待ちしております。

① 佐賀牛® 就農セミナー

日 時：7月28日（日）
13時～17時
場 所：JAからつ
応募締切：7月19日
佐賀牛いろはファーム



② アスパラガス・こねぎ栽培 やってみようセミナー

日 時：8月12日（月・祝）
9時～12時40分
場 所：唐津市浜玉公民館
応募締切：8月5日



③ かんきつ栽培就農セミナー

日 時：8月18日（日）
13時～17時30分
場 所：JAからつ本所
応募締切：8月8日



※この他、さつまいも栽培就農セミナー（11月）、タマネギ栽培就農セミナー（12月）、いちご栽培就農セミナー（2月）、を予定しています。



管内トピックス



(大会ロゴマーク)



(大会テーマ)

磨き 高め 未来に継(つ)なげる日本農業
～集え! 担い手 維新の地 佐賀へ～

「第26回全国農業担い手サミットinさが」開催!

令和7年1月22日(水)～23日(木)に佐賀県では初となる「全国農業担い手サミット」が開催されます。

本大会は全国から意欲ある農業者が集い、農業経営の現況や課題についての認識を深めるとともに、相互研鑽・交流を行うことを目的に、平成10年度から毎年、各県持ち回りで開催されています。

全国から1000名を超える農業の担い手が集い、2日間にわたり交流が行われます。

『株式会社中山牧場』

～中山園子農業士～

株式会社中山牧場は、玄海町で肥育牛2100頭、繁殖牛470頭を飼養しており、従業員と力を合わせて高品質な「佐賀牛」の生産に向け日々励んでいます。

令和7年1月に開催される全国農業担い手サミットの現地研修では、当牧場を視察していただきます。視察を通して、「佐賀牛」の生産現場の雰囲気を感じてもらえればと思います。

また、現地研修の巡回コースは農業だけでなく、地域の特徴を十分に紹介できるものになっています。

参加者の皆様に少しでも「佐賀牛」と「地域」の魅力が伝えられるよう微力ながら協力させていただきます。



『呼子の甘夏かあちゃん』

～山口恵市農業士～

呼子の地域特産品である甘夏栽培3.5haと「夢甘夏ゼリー」等の加工・販売を行っております。「コロナの影響等で減少傾向だった呼子を訪れる観光客が、最近は少し回復しているもの、もっと多くの人に呼子へ来ていただき、地域を活性化していくことが必要と感じています。」

このような中、全国農業担い手サミットの現地研修コースで、甘夏かあちゃんを視察していただくことになりました。この機会に、全国から訪れた方々に、「唐津・東松浦地区へまた行きたい」と思っていたら、呼子の魅力を発信していきたいと思えます。今回の大会が、盛会となるように、微力ながら貢献していきたいと思えます。

